



みなみいず 町議会だより

No. **76** 号
2019年
平成31.2.1

発行/南伊豆町議会 編集/議会広報編集委員会 〒415-0392 静岡県賀茂郡南伊豆町下賀茂315-1 TEL0558(62)6240
E-mail:gikaj@town.minamitsu.shizuoka.jp



12月定例会を12月5日から6日まで2日間の会期で開催しました。

- 主な内容
- 議長新年のご挨拶 2
 - 平成30年度一般会計 3
 - 平成30年12月定例会審議結果 4
 - 一般質問 5～13
 - 未来を担う子ども達、みなみいず元気びと、議会一口メモ、くる潮 14



新年のご挨拶

南伊豆町議会議長

齋藤 要

あけましておめでとうござい
ます。

平成三十一年の新しい年を迎
え、謹んで新年のご挨拶を申し
上げます。

日ごろより、私ども町議会に
対しまして、多くのご支援とご
協力を賜り、深く感謝を申し上
げます。

我が国経済は、経済の好循環
が進展する中で緩やかに回復し
ているところであり、今後につ
いても、雇用・所得環境の改善
が期待されます。

一方、10月から消費税が10%
となることから生活に密着した
景況感は薄いといった状況であ

り、地方でも景気回復を実感で
きる年になるよう期待したいと
思います。

1月には、伊豆縦貫自動車道
天城湯ヶ島ICが開通します。

4月には、石廊崎オーシャンパー
クが完成オープンいたします。

2020年開催の東京オリン
ピックを前に、JRDC（ディ

ステイネーションキャンペーン）
スタートに相乗して、伊豆半島

最先端の南伊豆町の、幕開け活
性化が期待されます。

町を取り巻く課題は、少子
化・高齢化、地域産業の活性化、
防災・減災への対応が求められ
ており、厳しい財政状況の中で

施策展開を求められております。

私ども議会といたしましても、
多様化する住民の声を丁寧
に拾い上げて、住民に開かれる議
会を目指し、鋭意取り組みを進
めているところでございます。

非常にむずかしい激動の時代
であります。挑戦する南伊豆
町でありたいというのが我々議
会の気持ちです。

結びにあたり町民のみな様の、
この一年のご健康とご多幸、ご
繁栄を心から祈念いたします。



平成30年度 (第3号)

一般会計・ 特別会計補正予算可決

総額5億617万3千円!

(※水道事業会計を除く)

- 一般会計 5億344万円
- 特別会計 273万3千円
 - 介護保険 252万3千円
 - 公共下水道事業 21万円
- 水道事業会計
 - 収益的収支 336万5千円



No.	議案番号	提出議案	審議結果	渡邊哲	比野下文男	加畑毅	谷正	長田美喜彦	稲葉勝男	清水清一	漆田修	渡邊嘉郎	横嶋隆二
1	諮第2号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	議第82号	南伊豆町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	議第83号	南伊豆町特別職の常勤の者の給料等に関する条例の一部を改正する条例制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4	議第84号	南伊豆町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5	議第85号	南伊豆町国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6	議第86号	南伊豆町消防団条例の一部を改正する条例制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7	議第87号	下田市、東伊豆町、河津町、南伊豆町、松崎町及び西伊豆町幼児教育アドバイザー共同設置規約制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8	議第88号	下田市及び南伊豆町に係る連携協約の一部を変更する協約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9	議第89号	東伊豆町及び南伊豆町に係る連携協約の一部を変更する協約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10	議第90号	河津町及び南伊豆町に係る連携協約の一部を変更する協約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11	議第91号	松崎町及び南伊豆町に係る連携協約の一部を変更する協約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12	議第92号	西伊豆町及び南伊豆町に係る連携協約の一部を変更する協約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
13	議第93号	平成30年度南伊豆町一般会計補正予算（第3号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
14	議第94号	平成30年度南伊豆町介護保険特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
15	議第95号	平成30年度南伊豆町公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
16	議第96号	平成30年度南伊豆町水道事業会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※ 議長 齋藤要は採決に加わっておりません。

● 一般質問

町長に聞きました



漆田 修 議員

当町の抱える教育課題

質問 2011年よりゆとり教育から学力偏重教育へ変遷した。その効果等に対する当局の認識は。

教育長 脱ゆとり教育では“生きる力”という言葉が使われ、生きる力という理念のもと知識・技能・思考力・判断力・表現力の育成を図っている。今この場で効果の言及は差し控えたい。

質問 県・町の大きな課題は①静岡式35人学級②配慮を必要とするこどもへの対応③学習指導要領改訂に伴う対応④全国学力状況調査の補助教材の研究、作成と採択、活用にかかわる課題⑤土曜授業への動き⑥部活動への県下統一ガイドライン等が掲げられる。賀茂地区は大規模校が無く少人数学級による公立小中学校の

統廃合は、より切実感がある。義務標準法の運用改正問題と絡め当局はいかが考えるか？

教育長 少人数学級は児童生徒に目が届きやすく、きめ細かい指導が行いやすい。反面従来からの議論の通り、いずれかは民意を反映させた選択となると思慮する。

質問 外国語、道徳教育、土曜授業について授業増加対応との関係と認識は？

教育長 全体では小学校205日、中学校203日で32年度からの次期学習指導要領移行をにらみ種々の対応を計っている。

質問 10月17日日経新聞一面にこれからの新しい教育、という見出しで、AIやICTを駆使したタブレットを介した教育記事が掲載されていた。都立麹町中学校の例もあるが当町の対応と当局の基本認識は。

教育長 現在小学校100台、中学校50台のパソコン利用

が有るが何れも個定的利用で屋外では対応不可である。来年度モニターの小学校一校にタブレットを導入し、授業活用を計画中だ。

日詰遺跡と 水稲栽培



質問 平成30年10月元下田北高教諭岡先生の表題の講演会があった。弥生から古墳時代の重層遺跡の行政発掘や律令制度の郡衙の話し迄及び興味を持った。大きなムラの出現に伴う水稲遺跡は見当らず登呂や日野遺跡等と較べると資料として劣る。加納地内の出土陳列場の整備及び古代史の町誌予算化への考えは。

教育長 南伊豆郷土館一階展示ロビーのリニューアルや将来的には町内空き教室の活用も考えている。町誌は3集計計画化されており、更なる史実探究は今後の課題と考える。

町内遊歩道と歩道

質問 県・町管理の遊歩道は現在2つ有る。ジオツアーと絡めた町内歩道の格上げと町内史実と絡めた歩道化推進について問う。①天平12年藤原広嗣の乱に加担した小野東人は三島郷（大島）に配流となり其の眷族は賀茂郷（小野）に居住し東人に対して助力した。小野塚が現存する②江戸時代初頭女官スキャンダルに激怒した家康は賀茂郷三島神社宮司の元に配流させた。青巾、上賀茂、二条の道程③幕末加納村杉田の加納道之助は伊藤甲子太郎等と新撰組に入隊した。油小路の変で近藤と別れ、後の流山で近藤と面通しをした。三島神社裏山で鎗術の稽古をした由、これ等を繋いだ歩道化は？

町長 面白い検討し度い。



加畑 毅 議員

子育てしやすい町づくりに向けて (エアコン設置・ネット環境)

質問 町内3小学校のエアコンが6月に設置され、7月から稼働している。町内2中学校へのエアコン設置が本当なのかどうか心配する声が出ている。小中学校へのエアコン設置は、私が初当選した7年前から継続質問してきた案件。水筒を持たせるとか、扇風機をつけるとか、その後は冷風機を設置したらどうかとか、段階的な展開を経て、小中学校へのエアコン設置がようやく実現した。疑っているわけではないが、2中学校にも間違いなく設置することの確認のため、来年3月

の当初予算に載ることを町長から明確に答弁をもらいたい。

町長 小学校に続いて中学校にも、国の特例交付金を活用しながら空調設置に向けた準備を進めている。来年3月の当初予算への計上も予定通り進めている。

質問 町内のネット環境整備については9月議会でも質問したが、それ以降に進展があったと聞いているので説明を求める。

企画課長 南伊豆町は三方を海に囲まれている半島の先で辺地に当たるといふことで、11月中旬に総務省の東海総合通信局で県内に対しての説明会が開催された。現在、通信事業者もその動きを掴みながら動いている。これまで1局で5億円以上、3局やれば15億円以上かかるといわれていたものが、62局の加入率が良かったので、この先も収益性がある程度は計算できるのではないかと、3局を一遍にやれば総事業費は6億円程度で、今までの予想より3分の1程度にできるのではないかとという話も通信事業者から入ってきている。あとは総務省が予算を通してくれるか。制度もまだ完全に固まっていない状況なので、その中で期待するところは補助率が2分の1なのか、3分の2なのか今後の争点になってくると考える。

質問 現時点で光ファイバーによる回線が使用できないエリアは南崎地区と三浜地区で、町役場を中心とした場合は遠方のエリアに見られがちだが、注目すべきは年明け早々につながる天城北道路の存在。西伊豆方面から人が多く入ってくることで予想され、西伊豆町や松崎町が活性化することは明白。そうなれば南伊豆町の玄関口が三浜地区になる可能性も高い。高速通信網の整備遅れで移住者政策に影響が出ると、子育てしやすいまちづくりにはつながらない。その点の見解はいかがか。

町長 財政的に厳しいが何とか検討しようと思う。西伊豆方面からお客さんが入ってくる天城北道路が1月26日に開通し、伊豆縦貫自動車道東駿河湾環状道路から伊豆縦貫自動車を通じて、そのまま西海岸方面に向かうルートでお客さんが流れることは、私も想定はしている。三浜地区で開催したトコリンピック事業では多くのお客さんが来たこともあり、西海岸からのお客さんを中心に南伊豆町に取り込んでいくかということも当然視野に入れている。ネット環境は移住者を町に呼び



込むためにも大変重要な事業だと思う。最終的には総務省の判断だが、結論が出るまで組んでいきたい。

災害時の賀茂圏
域共同での医薬
品備蓄

※質問し、答弁があった。

ミズベリグ伊
豆による河川の
新たな利活用

※質問し、答弁があった。



議員 正 谷

災害インフラの現状と今後の方針

質問 橋梁長寿命化計画と調査、今後の事業（工事・修繕）の内容は。

地域整備課長 平成30年度に再調査を行い、判定区分Ⅲの橋梁は41橋、平成30年度より34年度の5カ年計画で修繕を行う。事業費は13億円を見込んでいます。廃橋については、地元との話し合いは行っていません。農道や林道については、計画等はない。

質問 治山事業と急傾斜事業の現状と認識、今後の方向は。

地域整備課長 急傾斜整備事業が進まない理由について関係者の同意が得られないことがある。個人負担は必要と考えている。負担軽減等を含め、関係機関への要望活動に取り組む。

質問 一條・稲梓線道路建設期成同盟会の現状と今後

町長 現在は休止状態となっている。地元選出の県会議員や下田市との連携を強化し、命の道として、陳情活動を推進する。

質問 町道成持吉祥線と国道136号（差田〜二條）の今は。

町長 かねてから懸案である国道136号線の狭隘箇所は、地元選出の県議会議員の協力や所管関係機関が現地立会いを行いながら、事業化の可能性を検討している。



SNSなどの利活用の現状と情報発信の考え方

質問 南伊豆町のSNSに対する考え方。SNSを活用しての情報発信の考え方。

企画課長 南伊豆町においても平成11年度以降、町内通信網、グループウェアの整備やホームページ等を立ち上げた。人口減少の加速や流通形態においても大きな変革の時代であり、情報量も格段に増えている。平成28年度には町内の一部地域で光ケーブル化事業にも取り組んできた。SNS等の整備は急務であり、通信環境の拡充・高速化は交流人口等の増加につながる重要なインフラと考える。

質問 SNSを活用しての災害情報の伝達、収集の考えは。

町長 災害時における情報の伝達・収集手段として、有効と考えるが現状は未活用である。情報伝達における利便性等を十分認識し、適正かつ有効な活用について調査研究を進め、運用面や導入時期等を検討する。

質問 SNSを活用しての観光情報などの発信の考えは。

町長 最近、旅行計画等や旅先での情報収集等、SNSの活用を重要な情報収集手段としている旅行者は年々大幅な増加の傾向が見受けられる。これまで以上に内容の充実を図り、工夫が必要と考える。

質問 Free Wi-Fi環境の整備を。

町長 観光立町としての南伊豆町にとり、極めて重要な課題であり、インバウンドにおいては最低の条件である。道の駅、銀の湯会館や弓ヶ浜海水浴場等では、Free Wi-Fiスポットは整備済みである。石廊崎オーシャンパークにおいても準備を進めている。





比野下文男 議員

県立下田高校南伊豆分校 存続への将来の考えは

質問 創立70周年を迎え、各分野で地域おこしに活躍・貢献している同窓生のシンポジウムは盛況であった。

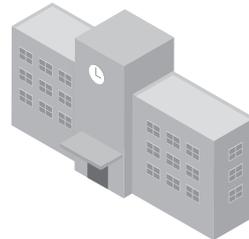
当校は農業専門の教育を基本に園芸科として地域に密着し見解を広めている。残念ながら少子化は当校にも影響し、定員に満たない学年が生じている。町は歴史ある学校を存続する為に、魅力化推進協議会を7月に設置し1回目の協議会が開催されたが、その内容・今後の活動方針の取り組みは。

町長 給食メニューの考案や林業を授業に取り入れる

など提案し、将来の維持存続に、町は地域密着型の人材の育成を推進している。

質問 来年度は松崎・稲取両校共、少子化に伴い1クラスずつ減と言う厳しい現実になる。当校は園芸科のみであり、こどもたちに魅力ある学びの場として広めていくには関連した教科、例えば食物科や食育科は未来の調理師や栄養士等の習得に夢が膨らみ、教育者並びに保護者にとっても誇りである。県へのアピールは。

町長 県立高校であり基本的に意見を述べる立場でないが志願者減少に歯止めをかけるためにも近隣市町と連携し子育て支援の更なる整備に努めていく。



旧共立湊病院 跡地問題

質問 当局は2年前一部署務組合より病院跡地を3億2、800万円で買い取り、

建物の解体費用に充当する方向で合意をしたがアスベストや土壌汚染除去問題が浮上し、1億円以上の費用が追加予想され用地交渉は頓挫を来した。当初予算に計上され、整備事業は国からの地方創生推進交付金が認定されるも更なる遅れが生じれば白紙となるのか。

町長 組合の責任として処理すべきで早期の土壌汚染処理並びに施設の解体等を引き続き求めて行く。

質問 地元伊ヶ浜は海水浴場のメッカとして町の有益な観光産業である。廃墟となった病院がいつまでも取り残されているのは町のイメージダウンである。地元区民は、放火や災害等の発生にも危機感を抱いており早期解体を望んでいる。組合の方針で解体を進めているが、町長は管理者である下田市長に対しスピード感を持って処理の提言を、なぜ出来ないのか。また現時点での湊区へ経過説明は必要と思うが如何か。

町長 2月末に運営会議が開催され、その後組合の予算等が審議されると思う。現時点湊区への説明は現状と同じと判断し、一部事務組合の議会の方針を見据え、湊区へ事情説明をしなくてはと考えている。

静岡DCの 受け入れ態勢は

質問 来年、JRグループと旅行各社コラボによる本番ステイネーションキャンペーン(DC)を4月、6月に迎えるが観光立町南伊豆にとって来遊客に希望を持っている。どの様な盛り上げりに企画運営され、その効果は期待可能なのか。

町長 事業者や観光協会と連携で商品を開発し、食、温泉、農林業の体験等々多数のメニューを企画・立案し旅行者の動向をSNSの活躍で情報発信中である。

質問 常に、おもてなしの心に期待したい。





清水清一 議員

地方創生の取り組み

質問 生涯活躍のまち事業で、病院跡地を町はどう考えているのか。

町長 一部事務組合下田メディカルセンターが旧病院施設を解体し、本町が買収し、生涯活躍のまち事業の拠点施設を整備する計画。取得交渉を開始して3年が経過、いまだ同組合との協議が整わず、今日に至っている。加えて、土壌汚染調査により有害物質が検出され、同組合による土壌汚染処理が実施されることとなり、拠点施設整備計画はさらにおくれが生じる見込み。

質問 国会で森友学園の問題で、汚染土壌という話があった。

町長 以前は土地を無償で譲渡していただき、町が有償にて解体をする方向もあったが、同組合のほうで土地の無償譲渡は行えないというところで、現在の形になった。また、土地の汚染が出た、弓ヶ浜地区への風評被害になってはいけない、人体に影響が出る数値ではないが、夏の海水浴等のさまざまな影響が出てはいけない、まずとにかくこの土の入れかえをしていただくの

が大前提。その後解体等に進んでいく。

質問 海軍病院が昭和5年ごろできた。町がそれを活用しなければならぬ。

町長 基本的に土地の代金が4億5000万円近くらしい、町としては病院跡地の取得を考えている。

質問 経済産業省とまち・ひと・しごと創生本部事務局が提供する地域経済分析システム「リーサス」の活用は、分析することで活性化が図られる、町で活用しているのか。

町長 地域経済にかかるさまざまなビッグデータを見える化するシステムで、本町は総合戦略、計画策定や事業施策の検討材料として活用。本年3月に経済産業省から講師を迎え、リーサスを活用した分析事例を中心とした職員向けの講座を開催、データに基づいた有効活用を推奨している。

質問 分析した中で南伊豆町の強みは、その中で特徴的なものは。

地方創生室長 町内の特徴は人口減少が著しい、町内で発生する所得、地域経済循環率、この辺の差が顕著に見られる。

質問 分析で南伊豆のいいところは何かあったのか。

地方創生室長 正直な話いい数字が見られない。今後に向け努力が必要、施策につなげたい。

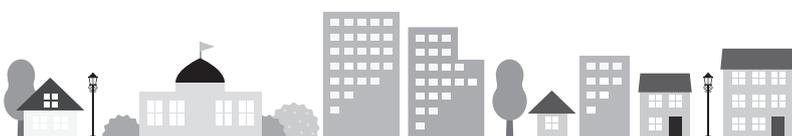
質問 地域経済循環率で、県内35市町中34番目で南伊豆町は74.9%、4分の3しかお金が町に残らない、町内でお金を滞留させて循環させていくことが必要では。

町長 地域経済循環率は、地域経済の自立度をあらわす。値が低いほど他地域から流入する所得に対する依存度が高い。所得向上や所得を地域で循環させる広域的な仕組みづくりが必要、

伊豆南部さらに伊豆全体で検討すべき課題。

質問 循環率を高めるには、雇用や新規事業の掘り起しが必要。

町長 経済として町が成り立っていくために大変重要な問題だ、さまざまな形で、町内で消費してもらうように、商品開発を含めて誠意に取り組んでいきたい。





渡邊 哲 議員

投票所の増設

質問 22ヶ所から8ヶ所になった投票所は高齢化社会に対して逆行している。現在の投票所は距離的にみても不平等である。数を増やす考えはないのか。

町長 選管の所管であるので私が答弁するのは適切でないと考えるので事務局長に答弁させる。

質問 町の最高責任者である町長の感想を聞きたい。

町長 住民の方からも、もとのように各地区で、というお話もうかがっているが、

期日前投票の充実もあり、現状のままでしばらくこの形がいいのかなと感じている。

あき家の登録条例

質問 町当局はあき家の数を把握しているのか。

地域整備課長 区長を通じて把握している。

質問 過日議会で一部地域を視察してきたが当局の資料とは数のうえでへだたり

があった。危険な家屋も数軒あった。あき家にする場合は必ず町に報告をして目的を持ったあき家にするよう義務づけ自己責任をより促すようにしたらいいか。

町長 国においては平成26年あき家対策特別措置法を制定し対策に向けた取り組みを示したが、権利問題を有することから、行政手法にも限界がある。議員ご指摘の登録制については各種の課題を検証し、また先進的なとりくみ等参考に検討したい。



上水道の沈砂池

質問 沈砂池の、みためが悪いが管理は充分か。

町長 沈砂池は大きな不純物を沈下させ、その後薬品沈殿池で不純物を除去しろ過池において浄水処理がなされ水道水となる。本施設は24時間体制をもって管理されており安全である。

東大下賀茂寮の閉鎖

質問 東大下賀茂寮が閉鎖ときいている。50年の歴史のなかで当町とは数々の関りをもっている。何とか存続させる手立てはないものか。

町長 東京大学大学院農学生命科学研究所が1943年設立されその後の学生達の校外研習の宿泊施設として下賀茂寮が建設され、町民との交流、教育関係者と

の交流とさまざまな接点があった。本年10月29日には特殊樹木に関する教育研究にとりくむ東京大学大学院農学生命科学研究科と農林業を活用した地域活性化をめざす本町とで協定書を締結した。本町ではこれを契機としてふるさと寄附に東大樹芸研究所との連携推進事業を追加した。本町としては閉鎖といながらも再開の余地はあると考える。OBの方々も存続にむけて動きだしたとのことである。日本国の中枢に在位する東大関係者とかかわりをよりいっそう深めることは本町にとっても有効なことである。町としても全力を挙げて活動していきたい。

質問 たいへんうれしいおことばで感激している。私達も応援するので情報があったらぜひ知らせてほしい。



渡邊嘉郎 議員

塵処理全般について

質問 南伊豆町のゴミ処理の1年間の経費はいくらかかるのか。

生活環境課長 全体で1億9000万円。

質問 全体で約2億円かかると言う事だが、町全体約4000世帯とし均等すると、一世帯当り年間5万円程かかっている事になるが、一般家庭から事業所等々から、費用徴収はしていないか。

生活環境課長 普通の事業所、一般家庭からの徴収はしていない。

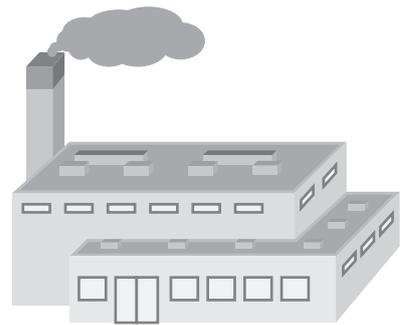
質問 大きい事業所負担をしているのか。

生活環境課長 徴収していない。一般の家庭と同じで指定ゴミ袋で各々の事業所はゴミ運搬業者に依頼をして代金を支払い運搬していただいている。

質問 今後一般家庭からも指定袋は別にしても月500円程度徴収するような考えはないのか。

町長 ゴミ処理については一般家庭を含めて、行政の責務とされているので、有

料化は今の所考えていない。



質問 私も徴収をすると言っているが、今は賛成できないが、今後は賛成に圧迫してくる気もする。将来を見据え町の清掃審議会等で検討すべきと思う。この点は要望しておく。

次に町の焼却施設の老朽化に伴う新施設建設について同うが、議会全員協議会で先般説明があったが、当町、下田市、松崎町との1市2町の広域で建設を検討中だが、その辺の経過をもう一度説明していただきたい。

町長 今後下田市、松崎町の動向を見ながら、いろいろのパターンで早い内に進めて行きたいと思う。

生活環境課長 今後町長の答弁にもありました通り、今後5年間を35年を目安に判断をして行く形になるかと思う。

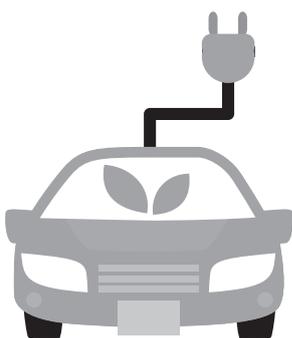
質問 ごみの問題は本当に大事な政策である。もう少し早い処理を要望する。

電気自動車の充電所について質問する。全世界で地球温暖化という問題が取りだされておいて、大気汚染、その他いろいろ問題視されており、世界の自動車メーカーも電気自動車に力を注いできている昨今だ、当町は観光立町として、電気自動車のバッテリー充電所が現在は1カ所ある、増設の考えはあるのか。

町長 世界的な流れの中、EV車、ハイブリット車の比率が高い中、有料化等の検討もしながら前向きに考えている。

質問 2020年のオリンピックを迎える中、石廊崎オーシャンパーク開業を見据えて観光立町として観光客をおもてなしの心で向かえる意味からも、オーシャンパーク内と、波勝崎の中に国の補助金が出る内にぜひ設置の方向に進めて行く事を要望する。又通信網の整備も、道の駅、石廊崎オーシャンパーク内へのWi-Fiの整備を是非お願いしたい。

町長 電気自動車充電所、Wi-Fi等の通信網の整備は随時進めて行く考えをしている。

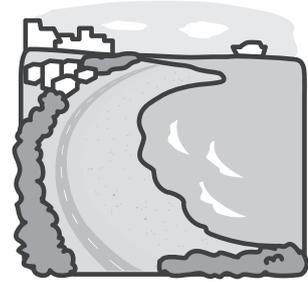




稲葉勝男 議員

C・C・R・C事業計画地 土壌汚染と今後の対応

質問 C・C・R・C事業（生涯活躍のまち拠点施設整備事業）計画予定地である旧共立湊病院跡地から、土壌汚染調査の結果、国の環境基準を超える4種類の有害物質（鉛・水銀・ヒ素・フッ素化合物）が検出され大巾な計画変更を迫られていると新聞で報じられ、一部事務組合下田メディカルセンター議会全員協議会で調査結果について説明がなされたが、現段階の考えは、



町長 有害物質については、土地所有者である一部事務組合の責任において、早期

に対応するよう働きかけているが、汚染土壌除去によりC・C・R・C事業計画に遅れが生じるものと考えている。今後、一部事務組合から示される汚染土壌処理計画及び土地売買条件等を精査し、国等関係機関との調整を含め総合的に判断していく。

質問 観光が基幹産業である本町において三ヶ浜地区は渚100選にも選ばれ、海水浴場や大型宿泊施設などを有し観光の拠点であるが、旧共立湊病院跡地の現状は大きなイメージダウンに繋がっている。地域住民はもとより町民は「地方創生」を目的とした本事業による問題解決に大きな期待を寄せており、一部事務組合運営委員会や広域連携会議の中で本町の重要課題と主張し、スピード感を持った対応が必要と考えるが。

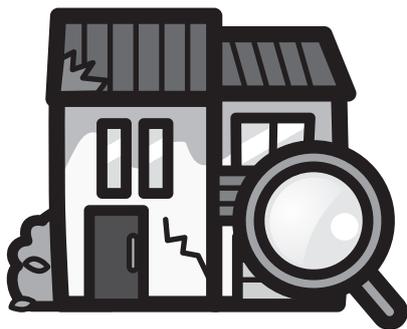
町長 一部事務組合運営委員会が来年2月に開催予定であり、管理者である福井下田市長や町長会でも事前に協議をする方向である。本事業の目的を考え、計画地を変更しても推進していく。

空き家（定住者のいない）対策

質問 伊豆半島先端に位置する賀茂地域は人口減少が大きく、30年後には半減するとの予測もあり一層過疎化に拍車がかかり、それに伴い空き家の増加が懸念される。地方創生の中で、移住・定住促進のため空き家対策の一環として有効活用を推進しているが、老朽化による倒壊や不審者による火災など防災、防犯、景観や生活環境の悪化への対策は、

町長 平成26年「空き家対策特別措置法」が施行され、善良な管理を促すことや財政、税制上の措置など支援を具体化するため条例整備が求められていると認識し、県の指導を受け実効性のある空き家対策に取り組んでいく。

質問 空き家対策特別措置法の中で、倒壊の恐れのある家屋を「特別空き家」と指定し、修繕や、撤去を指



導・勧告・命令できるとし強制撤去の権限が明記されている。この特別措置法の実効性を高めるため、総合的にまとめた計画の策定と連絡・調整を進める協議会・設置の考えは、
地域整備課長 現状を十分理解しており、近隣市町と連携をとり協議会の設置を進めて行く。



横嶋隆二 議員

地域整備と農業振興の課題

質問 農業従事者の現状と推移・生産額の現状と推移。担当部署の農業分野についての考え、今後の展開、抱負は。

地域整備課長 新規就農者等と呼び農業所得向上を目指す。農業振興は、市場に出さず、直売所を通じ産地地消費販売を、厚く考える。

町長 農林業センサス15年と10年との比較で、第1種兼業農家は32戸から10減、第2種兼業農家は、80戸から47戸減少。県地域経済指標農業部門で、本町の総生産高は平成27年度3億4600万円と減少傾向だ。来年4月オープンするJA直売店や石廊崎オーシャンパークのマルシェなどを通じ、農業振興活性化に期待する。



質問 地方創生分野で、東京で南伊豆での移住農業や起業アピールをしているが、農業委員がやっている。連携はしているのか。

地域整備課長 連携していない。勉強する。

質問 課長は農業委員会事務だが、農業委員会は、農地・農業の最適化、農業一般の調査農地利用の最適化に関する計画、実行、評価改善の必要ある提案を行政に提出するのが仕事だ、議論をしているのか。

地域整備課長 3条4条5条申請の他推進について論議してる。

質問 歴史的に見て、農地転用以外議論していない。だから、農業委員が平気で地方創生予算で東京に出て南伊豆で農業やりませんかという話が出る。新規就農者に犠牲が出ているにもかかわらずだ。農業委員会のあり方を抜本的に変えなければならぬ。私が持っている統計は、平成3年の町

る。我々は、もっとやれるのびしろがある。

地域整備課長 農協販路、新規作物の研究をしている伊豆農林事務所、生産者と三位一体の方向に進んでいけたらと思っている。農業委員会は、青市地区の新しい圃場整備について、農業委員会、農地推進委員、農協、農林事務所と連携し取り組んでいる。南伊豆分校の魅力化推進協議会が発足し、学校・行政・地域・PTAが参画し社会層協の協力実現を目指している。

政要覧から、平成2年農業センサスでは、農業人口3033人、専業1008人、第一種兼業²¹、第二種兼業1035だ。なぜ30年前の古いデータと比較するのか、農業は一朝一夕では行かないからだ。積み重ねがあった、この厳しい状況の中で南伊豆分校からあらたに農業系大学に2人進学という事例が生まれている。経営の安定のために、販売実績のある農協と研究開発のため農林事務所との連携は欠かせない。直売を厚くというが、どういう品目で連携するかの観点はあるのか。野菜生産について、良く比較対象で出す能登半島珠洲市が16億7000万円。南伊豆町5億8000万円。下田市2億7000万円。島しょ地域の八丈島町3億8000円。石川県中能登農林事務所農業振興部はWEBでHP『能登野菜』をJAと連携してやっている。担当部署と農林事務所ともしっかり協力して、地域の魅力を創り出すべきではないのか。冬季風雪に閉ざされる能登半島でこの実績があ



議会一コマ

議会の使命

第一は、地方公共団体の具体的政策を最終的に決定することである。議会は、地方公共団体の政策形成過程及び政策の実施過程に多面的に参画し、その要所で重要な意思決定を行って、議員は本会議や委員会での質問、質疑、修正を通して、政策形成過程に参画し、予算、契約、条例等の審議において最終的な政策の決定、すなわち地方公共団体の意思決定を行っているのである。

第二は、議会が決定した

政策を中心に行う執行機関の行財政の運営や事務処理ないし事業の実施が、全て適法・適正に、しかも、公平・効率的に、そして民主的になされているかどうかを批判し監視するところである。この批判と監視は、非難でもなければ批評や論評でもなく、あくまでも住民全体の立場に立つてなされる文字どおり正しい意味での批判であり、また、住民の立場に立つての監視であるべきである。

地方議会の構成員である議員は、以上のことを十分に理解し、よくその職責をわきまえ、行動することが要求される。

「議員必携」より抜粋

未来を担う子ども達

少年野球学童部・南伊豆コンドルズ

南伊豆コンドルズには、14名の子ども達が在籍していましたが、6年生の卒団などで現在は11名で活動しています。

私達指導者は、野球の技術はもちろんのこと、礼儀やマナーを教えることにも重点を置き、子ども達と日々ボールを追いかけています。

チームのために一生懸命声を出し、ボールを追いかけている子ども達の姿には、大変感動するものがあります。

基本的には、南中小学校グラウンドで土日練習を行っていますが、暖かくなると週1回夜練習も行っています。

打つ・捕る・投げることに興味がある子ども達や保護者の方はいつでも見学に来てください。



みなみいず元気ぴと

手石カラオケの会



私たち区民の有志は、2年前にカラオケの会を立ち上げました。年齢は60代後半から90代まで総勢22名の皆さんは公会堂で毎月3回、5の付く日に3時間、十八番を楽しく元気に歌っています。その成果は町内の老人会や敬老会で披露され、客席はうっとり！毎月その日が楽しみで、いつも笑いが絶えない仲間達です。まだ参加に余裕があります。是非希望者は公会堂へ！お待ちしております。

お問い合わせ TEL 0558-62-0887 代表 鈴木 義則

議会を聴きにきませんか

手続きは当日、住所、氏名等の記載で傍聴できます。

・お問い合わせは議会事務局へ

TEL 0558-62-6240



平成31年は4月まで、5月から新しい元号に代わる。明仁・今上天皇が4月30日に退位し、徳仁天皇が即位する。

4月、石廊崎オーシャンパークがオープンする。伊豆半島ジオパークを形成する伊豆半島先端のシンボルパークだ。旧施設が閉園して16年。伊豆半島観光にとって、画竜点睛を欠く状態が長くつづいた。

4月、JRDC（ディスプレイ）がはじまる。1月26日、伊豆縦貫自動車道天城湯ヶ島ICが開通した。

東海岸は鉄道を通じて、西海岸は、伊豆縦貫自動車道全通に先駆けて開通。

半島先端で代を繋いできた住民にとって悲願だった。一歩また一歩、伊豆半島先端地域の魅力を紡いで行きたい。

(横)